

連合福島政治政策フォーラム

国・県に対し引き続き提言活動を実施！

～2013年度活動計画を満場一致で採択～



主催者を代表して挨拶する佐々木廣充代表幹事

総会では、2012年度の活動報告並びに会計報告が行われ、昨年度の取り組み内容を総括した。また、2013年度活動計画（案）、予算（案）では、地域フォーラムとの連携の強化、合同研修会の開催や、財政状況を踏まえた会費の値下げや、連合福島からの助成金の引き下げなどが提案され、満場一致で確認された。また、2012年度の政策提言内容に付いては、福島県が直面する人口減少の問題に資する政策提言として、福島県における「みなし寡婦控除制度の導入についての

連合福島政治政策フォーラム第18回総会は、12月2日（月）福島市の福島グリーンパレスで開催され、連合福島の加盟労組関係者・県内自治体各級議員などの会員約150名が出席した。総会の冒頭、主催者を代表して佐々木廣充代表幹事が挨拶し、連合福島政治政策フォーラムは、各地域のフォーラムとの連携を強めながら、引き続き幅広い層から提起された意見を基に、国、県に提言活動を行っていく旨の挨拶を行った。

また、来賓として児玉伸行連合福島副会長、増子輝彦民主党福島県連代表、紺野長人社民党福島県連副代表が出席され、総会に華を添えた。



真剣に傾聴する会員の皆さん

提言」について、佐々木代表幹事から提言の趣旨も含めた説明がなされ、全会一致で採択された。

役員の改選では、佐々木廣充代表幹事をはじめ、幹事全員が再任されたほか、会計監査の紺野孝幸氏（福島地区連合前議長）が退任され、新たに伊藤秀治氏（福島地区連合議長）が会計監査に就任した。

総会終了後の記念講演会は、阿部正浩中央大学教授にお越し頂き、「日本経済・社会の環境変化と労働市場の規制緩和」というテーマに沿って、主に人口減少社会における、労働規制改革の方向性について講演を頂いた。



記念講演をして頂いた阿部正浩中央大学教授